



冬・夏のパラリンピックに 楽しみながら挑み続ける

村岡桃佳選手 冬季・夏季パラリンピック出場(チェアスキー車いす100m)

「努力が実った」 平昌パラリンピック

小学校3年生でチェアスキーと出会った村岡選手。中学校2年生の頃から、競技スキーに本格的に取り組み、2014年のソチパラリンピックに17歳で出場を果たしました。しかし、夢見心地で参加した大会は、苦い経験になったそうです。「大会の大きさにプレッシャーを感じて、怖くなって、いつも通りに滑れなかったんです。すごく悔し



2022年北京パラリンピックでは金メダル3つ銀メダル1つを獲得



くて、次のパラリンピックでは絶対に表彰式に立つんだと決心しました」。

それからの4年間、これまでの以上に努力を重ね、迎えた平昌パラリンピック。出場した5種目(滑降・スーパー大回転・スーパー複合・大回転・回転)すべてでメダルを獲得。なかでも、大回転では金メダルに輝きました。「努力が報われた瞬間、本当に嬉しかったですね」。

「スポーツを楽しむこと」 を忘れない

平昌パラリンピック後、次の目標として、2020年の東京パラリンピック陸上競技への出場を掲げました。「チェアスキーの金メダリストとして少しは自信があったんですが、全く練習についていけなくて。コーチから、100mを走る体が全然できてないと言われて



写真:時事通信提供

心が折れました」。そこから毎日、全力を尽くして練習を積み重ねた結果、東京パラリンピックの車いす100m種目で6位入賞を果たしたのです。その経歴から、目標に向けて自分に厳しくしている村岡選手の姿が思い浮かびますが、心がけていることを聞くと、「楽しむこと」を答えてくれました。「私はスポーツが好きだからやっています。日々の練習はとても辛いけれど、少しでも成長が感じられた時は嬉しいし、良い記録が出た時の喜びは格別。その気持ちを忘れないでいたいんです」。現在は、パリパラリンピック出場を目指して、楽しむことを忘れないで練習に励んでいるそうです。



「フェアプレー宣言」しました!!

42.195kmを腕の力を振り絞って走る車いすマラソンの世界記録は、スイスのマルセル・フグ選手が、2021年に日本の大分県で開催された大会で樹立しました。



【答え】C

スポーツものしりクイズ

問題 男子マラソンの世界記録は2時間35秒です。では車いすマラソンの世界記録は?

- A 2時間20分15秒
- B 2時間52秒
- C 1時間17分47秒



得点よりフェアな姿勢を

〈テニス〉ダニエル太郎選手(日本) ヤニック・シナー選手(イタリア)

